

甲府室内合奏団
KOFU CHAMBER ENSEMBLE

 **35周年
記念演奏会**
35TH ANNIVERSARY CONCERT



ALL MOZART PROGRAM
モーツァルト特集

交響曲 第1番 変ホ長調 KV16
Symphony No.1 in E-flat major

ピアノ協奏曲 第27番 変ロ長調 KV595
Concerto No.27 for Piano and Orchestra in B-flat major

交響曲 第41番 [ジュピター] ハ長調 KV551
Symphony No.41 in C major 《Jupiter》



ピアノ… 田崎 悦子 指揮… 長田 雅人
Piano… Etsko TAZAKI Conductor… Masahito OSADA

演奏… 甲府室内合奏団
Player… KOFU CHAMBER ENSEMBLE

チケット2,500円(全席自由)

2010年12月5日 日曜日 午後1時30分開場 午後2時開演
山梨県立県民文化ホール 小ホール Yamanashi Kenmin Bunka Hall
甲府市寿町26-1 TEL055-228-9131

チケット取り扱い…チケットぴあ(山梨県民文化ホール内)・内藤楽器・下記問い合わせ先 主催…甲府室内合奏団 <http://www.kofu-ensemble.org/>
後援…山梨県・甲府市教育委員会・山梨県芸術文化協会・山梨日日新聞社・山梨放送・NHK甲府放送局 問い合わせ…小池(055)252-6122 原(0556)22-1294 田中(055)277-5300



ピアノ独奏 田崎悦子



1960年よりジュリアード音楽院で研鑽を積み、以後30年間アメリカに在住。1971年ヨーロッパ楽壇デビューに続いて、1972年カーネギーホールにてニューヨークデビュー。これまでにG.ショルティ、W.サヴァリッシュ、L.スラットキン、H.プロムシュテット、小澤征爾などの率いる世界のオーケストラと協演。アメリカ建国200年祭では、アメリカを代表する10人の若手ピアニストに選ばれる。また、ルツェルン、マールボロ、アスペン、サイトウキネンなどの国際フェスティバルに出演。

日本においては、『ドイツロマンをもとめて…』『ピアノ・マラソン』など、これまでの概念を打ち破った企画と演奏で絶大な注目を浴び、1997年『三大作曲家の遺言』は文化庁の芸術祭参加作品となり『田崎悦子ピアノ大全集6回シリーズ』はバッハより21世紀までのピアノ音楽を縦断する偉業をなしとげ、日本ピアノ界の金字塔といわ

れるイベントとなった。また、全国各地でのマスタークラス『Joy of Music』では、その独特な指導法で、生徒の個性を引き出し聴衆と共に『生きた音楽』へと導くことで、日本の音楽界に新風を巻き起こしている。

桐朋学園大学・同大学院特任教授、日本音楽コンクール、全日本学生音楽コンクール審査員、浜松国際コンクール音楽顧問。公開ピアノセミナー『Joy of Music』音楽総監督。現在、八ヶ岳南麓に在住。



指揮 長田雅人



撮影：渡辺さとる

1962年甲府市生まれ。東京音楽大学を経て桐朋学園大学において指揮を学ぶ。指揮法を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、紙谷一衛、オラフ・コッホの各氏に師事。ファゴットを霧生吉秀、菅原眸の各氏に師事。

1990年よりウィーン留学。ウィーンマスタークラスにおいてK・エスタライヒャー氏に師事。オーストリア（ミュルツ・ツーシュラク）で開かれた現代音楽講座「20世紀の音楽」においてR・シューマッヒャー氏に師事し、ミュルツタラーカンマーオーケストラを指揮した。

1991年帰国。これまでに東京シティフィルハーモニー、仙台フィルハーモニー、札幌交響楽団、大阪シンフォニカー交響楽団他、全国各地のオーケストラに客演。

1994年ジュネーブ国際コンクール・指揮部門において世界予選を通過しジュネーブ審査会に出場。同年フランス（ドゥーエ市）にて開かれた「若い音楽家のための国際コンクール・指揮部門（審査委員長ジョルジュ・プレートル氏）」において入賞を果たした。2001年、オペラ「智恵子抄」を指揮。2004年、ベトナム（ハノイ）で行われたベトナム国立交響楽団特別コンサートを指揮、2005年には定期公演に客演しベトナムデビューを果たす。2008年9月、尾高忠明指揮札幌交響楽団定期公演「ピーター・グライムズ（演奏会形式）」において副指揮者を務めた。

甲府室内合奏団

1975年「アンサンブル・カンティレーナ」の名称で甲府市を本拠地として発足。1985年発足10周年にあたり甲府室内合奏団と改称、以後も着実に実績を重ね、ポール・ヴェルレーヌの「なによりも音楽、さらになお音楽、常に音楽」をモットーに、親しみのある音楽づくりに励んでいる。これまで、通算36回の演奏会を開催。

2000年11月にはウィーン・コンツェルトハウスのシューベルト・ザールで25周年特別演奏会を開催し、ウィーン市民の喝采をいただく。2005年、山下一史氏指揮により30周年記念演奏会を開催した。

自主公演以外にも県芸術文化協会主催の、小中学校やスコレーセンターでの芸術劇場、合奏団メンバーによる県下各地での小編成のコンサートの他、近年県外にも活動の場を広げ、指揮者松井雅司氏の招きにより、上野奏楽堂などで合唱演奏会の弦楽合奏部を担当し、ヘンデルの「メサイア」、モーツァルトの「レクイエム」等を演奏している。